

令和7年度12月行事予定

1	月	学年集会(全学年) 運転免許取得開始	期末 考査
2	火	④愛媛大学出張出前講座(3年紙のまちづくりコース)	
3	水	歯みがき講習会(16:00~)	
4	木		
5	金	⑥総探	
6	土	高P連理事会及び高P連集う会(エスポワール文 教会館)	
7	日		
8	月	⑤⑥非行防止教室 校納金口座振替	☺
9	火		
10	水	クラスマッチ(午前) 身だしなみ指導	⑦
11	木	クラスマッチ(午前)、土居高まちおこし委員会リハ ーサル(午後:該当生徒)	
12	金	⑤⑥人権・同和教育講演会(ユーホール)	
13	土		
14	日		
15	月		☺
16	火	DoiEats プロジェクト報告会(午前、ユーホール)	
17	水	30分授業①~⑥	保護 者 懇 談 会
18	木	②避難訓練 ③④総探(第2回土居高まち おこし委員会、生徒活動報告会)	
19	金	終業式 手をつなぐ子らの交流集会(生徒 会・家庭クラブ)	
20	土		
21	日		
22	月		進 路 補 習 ・ 検 定 補 習
23	火		
24	水		
25	木		
26	金	仕事納め	
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		

☺…準スクールカウンセラー来校日

御意見・御感想は電話またはFAXでお願いいたします。
電話: 0896-74-2017 FAX: 0896-74-7221

生徒課より

今年も残すところあとわずかになりました。土居高生の皆さん、今年はどのように成長できましたか。御家庭でも、お子さんと一緒にこの1年を振り返り、改めて意識していただきたいことを、以下にまとめました。話し合う際に、ぜひ取り上げてください。

(1) 御家庭で、お子さんとの会話はありますか。統計では、家族との会話が多ければ多いほど、問題行動が少なくなるというデータがあります。お子さんと話す時間を、毎日意識して持ってください。

(2) スマートフォンの使用に関する御家庭でのルールはありますか。本校でも、SNSを中心とした、インターネットを通じてのトラブルが起こっています。特に、お子さんのスマートフォンの利用について十分に把握してください。LINE・X(旧ツイッター)・フェイスブック・インスタグラム等に、安易に写真や個人情報を掲載している生徒がいます。大きな問題にならないように、御家庭でも注意してください。

(3) 高校生らしい男女交際の在り方について考えてほしいと思います。自分たちだけの世界に入り込んで、周りを不快にさせているケースが一部見られます。自分たちで責任を持てなくなるような行動をしないように、お子さんに声を掛けてください。

(4) いじめ・暴力は犯罪です。絶対に許しません。自分本位な感情を出すコミュニケーションは、相手を傷つけてしまいます。友だちとの正しいコミュニケーションの取り方について、御家庭でも話をしてください。安全で安心な学校生活を送るために、お子さんの様子に十分目を向けていただき、お気づきのことがあれば、学校まで連絡をお願いします。

(5) お子さんが、御自宅で喫煙や飲酒をしていませんか。絶対に黙認しないようにしてください。

(6) アルバイトは学校の許可が必要です。無断でアルバイトをすることに、メリットはありません。アルバイトをする場合は、正式な手続きをしてください。御家庭と学校とが支え合う体制を整えていきたいと考えておりますので、今後とも御協力をお願いします。

有意義な冬休みを
過ごしましょう!





特活課長 大西宏武

今年も大谷翔平選手の活躍はすごかった。先日、2025年シーズンのMVP（最優秀選手）として、3年連続4度目、両リーグをまたぐ3年連続・満票での4度目の選出は初の快挙だそうだ。

昨年、超大型契約でのドジャース加入、結婚、元通訳の違法賭博事件、メジャー初の「50本塁打・50盗塁」、左肩負傷……。大谷翔平選手がジェットコースターのような1年を悲願のワールドチャンピオンで締めくくり、今年も投打の「二刀流」を実現して2連覇を果たした。

大谷翔平選手は、1994年生まれ。多感な時期に数々の日本人大リーガーが活躍した。1964年に、左腕の村上雅則選手が日本選手初の大リーガーになってから60年が経つ。30年の空白の後、二人目は1995年、野茂英雄選手。ドジャースで新人王と最多奪三振を同時受賞。2004年に、マリナーズのイチロー選手がシーズン262安打の記録を樹立した。2009年に、ヤンkeesの松井秀喜選手がワールドシリーズでMVPを獲得した。もしも、日本選手の実力が「本物」で認められていなかつたら、当時23歳だった大谷翔平選手の挑戦、投打の「二刀流」を認める球団はなかつたかもしれない。今では、米国内にも、大谷翔平選手が切り開いた道に続こうとする有望株が出てきているという。

ある心理学者は、大谷翔平選手が大リーグに挑戦した2018年からの発言に着目し、思考や行動パターンを分析した。そこには、一流アスリートならではの特徴が見受けられたという。大谷翔平選手は、結果を「二の次」と考え、球をバットの芯でとらえて一定の角度で飛ばすことだけに集中しているという。「～しなければならない」では、重圧で体が思い通り動かない。大谷翔平選手は、自然体でいられるからホームランを量産できる。普通は、結果に対して、「良かった」「悪かった」と、一喜一憂しがち。ただそれが、努力を怠ったり、意欲を落としたりすることにもつながる。一方、一流アスリートは、「できた」「できなかつた」と分類する傾向にあるそうだ。失敗の原因を見つめ、克服することで成長につながるからだそうである。

そんな彼の原点は、リトルリーグの監督だった父との交換日記の中にある。

*一生懸命元気に声を出す

*一生懸命キャッチボールをする

*一生懸命走る

「へたくそだろうがなんだろうが、誰もができるとこを一生懸命やる」を貫いて、試合中の大谷翔平選手は一生懸命なプレーを楽しんでいるように見える。「小さな一生懸命」を積み重ねて、彼はとてつもなく大きな存在になっている。

生徒の皆さん、自分自身の成長のために「小さな一生懸命を」続けていきましょう。